

いつも一緒 富山のペットたち

大や猫も人間と同じく、規則正しいリズムで適量の排便が行われる状態が正常とされます。大人の犬であればおおよそ毎日、食事の回数と同じかプラス1回の排便が目安になります。子犬も同様ですが、食事の内容などにより、回数はまちまちになる傾向があります。猫の場合は大よりもやや回数は少なく、大人の猫で一日1、2回程度です。子猫も理想は毎日ですが、2日に1回でも十分な量の排便があれば問題はありません。



神田 俊克

かんだアニマルホスピタル院長
(砺波市豊町)

便が出ない

排便の間隔が長すぎたり短すぎたりするときや、1回の排便量が食事の量に比べて多すぎたり少なすぎたりするときは、体の中で何らかの異常が起きている可能性があります。かかりつけの医師にご相談いただくのがよいでしょう。

便秘は動物にとっても苦しいものです。では、便はなぜ出なくなるのでしょうか。原因は、大きく分けると三つ挙げられます。

食事取れず

一つ目は、食べ物が体の中心に取り込まれないときです。病気やけがで気分がすぐれない、



食事をするチワワ。排便と食事は密接な関係がある

けが・病気の可能性も

この場合は、原因が取り除かれ、安定した食生活が営めるようになると24〜48時間後に、ようやく排便が見られることが多い。

い、出された食事が好みに合っていない。これらの理由で食べない期間が続くと、便の作られるスピードは当然、ゆっくりしたものになります。食べた物を消化・吸収、運搬する胃腸は仕事が無くなり、その働きを緩めたり止めたりしてしまつたため、結果として便秘自体がこなくなりま

いようです。二つ目は、便の通過が邪魔さ

れているときです。便が体の外に出るには、大腸という道を通らなければなりません。病気のけがのせいで道がふさがれてしまつと、便は行き場を失つてま

まいます。交通事故で骨盤を骨折して折れた骨が大腸を圧迫しているこ

きや、腫瘍、炎症が生じた場合がこれに該当します。腸の内腔が狭くなつてしまつと、大きな塊を通すことが難しくなつてしま

大腸が十分な力を発揮するた

めには、一定の筋力を保つてい

なければならぬのですが、病

気や体質によって筋力が損なわ

れると、便が滞りがちになつて

しまつケースがあります。

また、神経から「働きなさい」という命令が適切なタイミングで送られてこなかったり、送られてきているのに受信できなかつたりすると、仕事をしなかつて筋力が衰えていくこともあります。

便が出なくなる原因は、このように多岐にわたります。私の病院では「理由はどうあれ、3日続いて便が出ないようなら」相談をいただき「とお勧めして

まいます。

筋力に衰え

最後は、大腸の機能が低下しているときです。

大腸は筋肉で作られたチューブのようなもので、神経から送られてくる命令に従つて、便の運搬や水分の再吸収などの仕事をしています。

2012年(平成23)年 2月2日
北日本新聞

ペットとは日頃から十分にコミュニケーションを取り、普段の様子を把握していただくことが何より大切です。早期発見・早期治療が良結果をもたらします。

◇「いつも一緒 富山のペットたち」は、毎月第1木曜日に掲載します。